

県北・日光版

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

自然保護啓発、年100件超

【那須塩原】自然環境の保全で顕著な功績があったとして、「塩原温泉ビジターセンター運営協議会」は17日、本年度の「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰（自然ふれあい部門）を受けた。ボランティアを中心とした年間100件を超えるプログラムの企画・開発といった、自然保護に関する積極的な啓発活動が評価された。（生澤一造）

長年の功績に大臣表彰

本年度は全国24団体が表彰され、本県からは同協議会と真岡市の「真岡児童館やさしクラブ」の2団体が選出された。

同協議会は1993年に旧塩原町が設置。その翌年にオープンした塩原温泉ビジターセンターを運営する。2003年に結成されたボランティア団体「パークコンダクター連絡協議会」が中心となって散策イベントや清掃活動、地域の子どもの自然学習会を開いてきた。

表彰状を手にする連絡協議会の石井副会長（左から2人目）ら関係者



小中生、一流の技術学ぶ

日光でホッケー教室

19日は雨の中、GSKの選手ら21人が指導。小学生

●読者室
TEL.028(625)1179

●大田原総局
TEL.0287(20)1023
FAX.0287(20)1024

●日光今市総局
TEL.0288(30)1023
FAX.0288(30)1024

●日光支局
TEL.0288(50)1023
FAX.0288(50)1024

●那須塩原支局
TEL.0287(67)1623
FAX.0287(67)1624

●矢板支局
TEL.0287(40)1023
FAX.0287(40)1024

●那須烏山支局
TEL.0287(80)1023
FAX.0287(80)1024

掲載写真 詳細はWEBで！
購入できます
申し込み（記者撮影分に限り）
デジタルソリューション部
（受付 平日 9:30～17:30）
028-625-1102

例年は4月15日～5月14日の「みどりの月間」中に表彰式が行われるが、新型コロナウイルス禍のため昨年度に続き全体の表彰式は中止となった。

同日、ビジターセンターで行われた表彰状伝達式には県や市の関係者が出席。

代表して賞状を受け取った連絡協議会の石井英

治副会長（73）は「長年の活動が認められたことをうれしく思う」と話していた。

町に災害時用 バッテリー寄贈

那須と福島

【那須】中古車販売などを行う「しのぶや」（寺子乙）と産業用機器などを製造する「シーエム福島」（福島県白河市）は16日、災害時電源供給用バッテリー



かなえるという。町内避難所などに配備される予定。この日、しのぶやの生澤皓二取締役（34）、シーエム福島の松永紀男社長（51）らが町役場を訪れ、目録を受け取った。幸宏町長は「町は電が多く、停電する場合もある。とてもありがたい」と感謝した。

食品の安全性 授業で学ぶ

稲村小6年生

【那須塩原】稲村小でこのほど、県生活衛生課職員による食品安全教室が開かれ、6年生約80人が食中毒対策や手洗いの大切さなどを学んだ。写真。

同教室は県主催。子どもたちに食の安全に関する知識を伝え、健康の大切さを考えてもらう。希望する県内小学校で開いており、本年度は15校で実施予定。

同校では家庭科授業の一



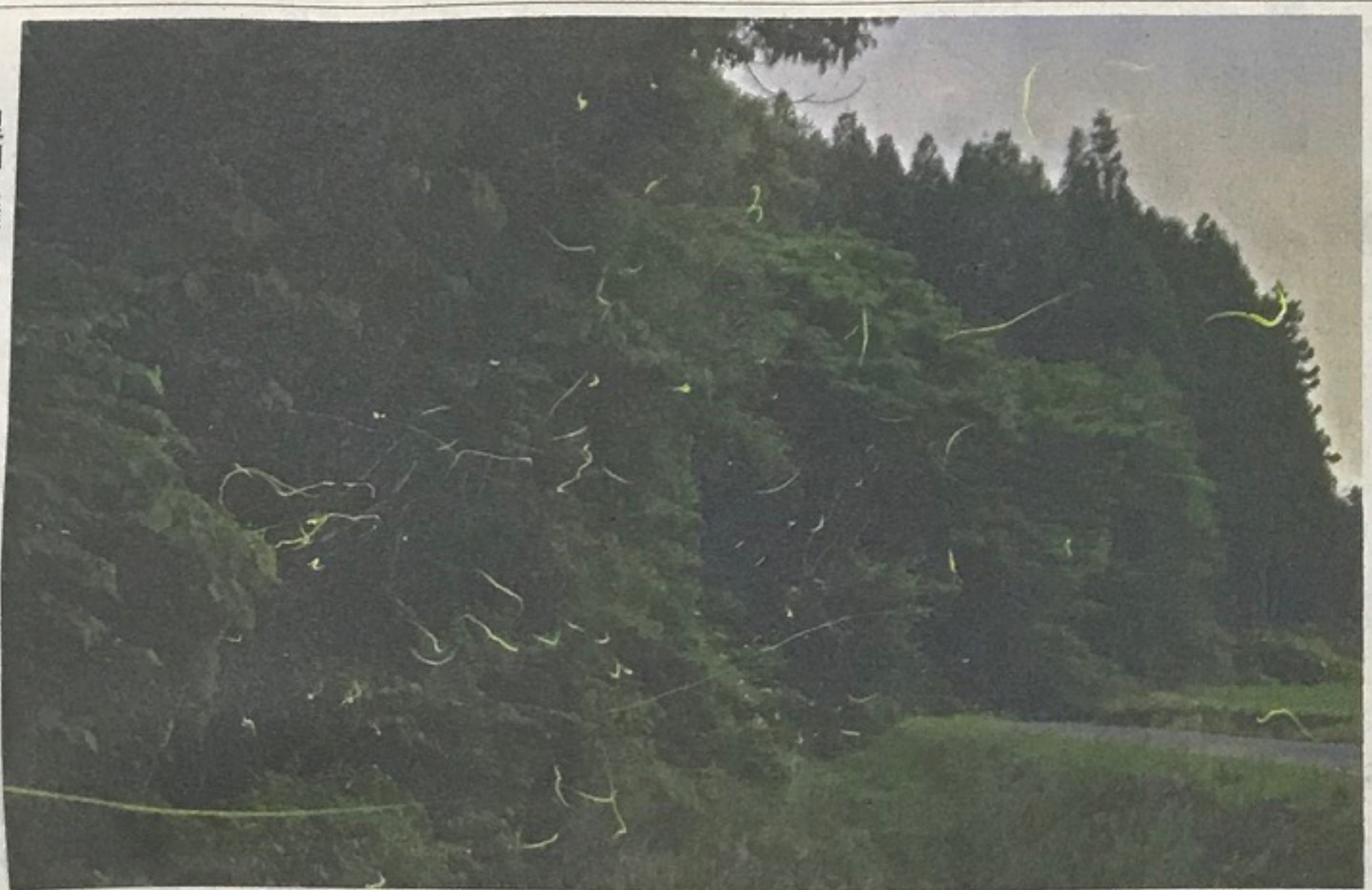
環として開かれた。県職員は食品表示や食中毒を防ぐための方法について説明。食中毒の原因の一つとなる雑菌が、手のひらにどのく

夜の里山 ホタル飛び交う

那須烏山、小木須川沿い

8時前から見られ、川沿いの茂みの各所から黄緑色の光がふわりと舞い上がる。見ごろは今月いっぱい続き、7月は数が少ないもののヘイケボタルが見られるという。同会の萩原光男代表（72）は「ホタルの光とともに、多くの生き物が息づく里山の姿にも思いを巡らせてほしい」と話している。（文・写真 手塚京治）

里山に舞うゲンジボタルの光跡（約3分間露光）



技術を普段の練習以上に詳しく学べた」と話した。同漁協が現在確認できる

時間を活用して参加。バケツに入った20～30匹のウナギを川に放流した。同漁協の小林孝好事業

住宅金融支援機構